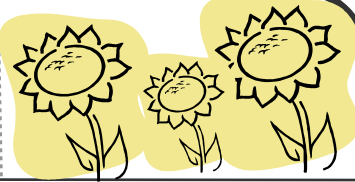


のだネット通信



中核地域生活支援センター のだネット（千葉県委託事業・野田健康福祉圏域）

TEL 04-7127-5366 / FAX 04-7127-5367

〒270-0235 野田市尾崎840-32 / E-mail noda-net.kusunoki@nifty.com

<http://homepage2.nifty.com/noda-net/>

中核地域生活支援センターのだネット運営委員会報告

平成25年6月24日(火)13:30より、のだネットの運営委員会が開催されました。

のだネットの活動報告と事業計画、事例発表とグループホーム等支援ワーカーより活動報告と事業計画をお伝えしました。

また、市内5カ所の指定相談支援事業所に配置されている相談支援専門員の集まりを開催している報告をさせていただきました。指定相談支援事業所の相談支援専門員は複数配置されている所は少なく、孤立してしまいがちなので、定期的集まる機会をもって、ネットワークを構築し、情報交換や事例検討などし、サービス等利用計画作成、障がい児支援利用計画作成に役立てたいと考えています。

記:五十嵐



コーディネーター便り

野田市民生委員・児童委員協議会
『障がい者児対策問題研究部会』に参加して

7月1日いちいのホールで行われた研究部会は、平成23年は知的障がい者の通所施設、平成24年は精神障がい者の作業所、今年度は社会福祉法人はとふる「あすなろ職業指導所」で体験実習される為の事前研修でした。

のだネットは日頃より民生委員の方々と連携しています。その相談内容と具体的な支援状況をお伝えしました。不登校のお子さんの家族問題、経済・病気・障害等や、高齢者の介護保険・福祉サービス・経済・独居生活・虐待問題等です。

そして、自閉症の方の見え方等がとても楽しく疑似体験ができたのは、野田市手をつなぐ親の会「まめっ娘」の若いお母さん達の熱演があったからです。皆さんは各々写真を掲げ「私の息子の〇〇です」と自己紹介。小さい時は…とても大変だったけど、今は「〇〇に就労実習に行くようになりました。」と、市内に出来た自閉症対応の施設に通える幸せを作文形式でお話しされました。

これから数か月に渡って研究部会の皆さんが体験実習される施設でお子さんに会われた時、より親しみがわき、理解し合え、これからも繋がっていく間柄になられることでしょう。

研究部会の皆さんの障がい者理解への活動に深く感銘しております。

体験実習終了後の反省会・体験談のご報告を楽しみにしております。

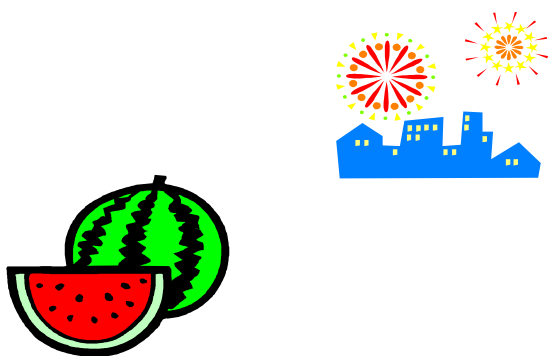
(記:金城)

野田市パーソナルサポートセンター連絡会 報告

平成25年6月4日(火)野田市役所にて野田市パーソナルサポートセンター連絡会が開催されました。昨年度の実績報告の後、今年度の取り組みについて話がありました。

平成23年度から2年にわたって内閣府の「パーソナル・サポート・モデルプロジェクト事業」を実施していましたが24年度で終了となり、その個別的・継続的・包括的な支援及び伴走型の支援の形は、平成25年度厚生労働省の新たなモデル事業として「生活困窮者自立促進支援モデル事業」を継承され、従前の相談支援事業に新たに「就労促進のための支援事業(就労準備支援モデル事業・就労訓練事業の推進)モデル事業)及び「家計相談支援モデル事業」等が追加され、それらの事業が1つのパッケージとして実施されるそうです。

(記:五十嵐)



改正障害者雇用促進法

雇用分野の障がい者差別を禁止することなどが柱の改正障害者雇用法が6月13日の衆議院本会議で可決しました。2016年度から2段階で施行されます。改正点のひとつは差別禁止の規定を盛り込み、事業主の義務が明記されたことです。今後事業主がどのように対処しなければならないのかは厚生労働大臣が指針を策定することになっています。

もうひとつの改正点は、現行では身体・知的障がい者の数を基にしている法定雇用率の算定基礎に、精神障がい者を加えたこと。ただ、施行は2018年度とした上で、施行後5年の法定雇用率については、障がい全体の雇用状況や国の支援体制を踏まえて決める激変緩和措置を盛り込みました。

記:五十嵐

医療保護入院の保護者の同意について

保護者制度を廃止にして、医療保護入院の手続きを見直す改正精神保健福祉法が6月13日、衆議院本会議で賛成多数で可決、成立した。

2014年法施行予定で改正の柱は、精神障害者に治療を受けさせる義務や、退院時の引き取り義務など、保護者の規定を削除するということ。現行では後見人、配偶者、親権者のうち一人が保護者になる。いない場合は裁判所が親族の中から選任する。精神保健指定医が入院が必要と判断した場合、本人が拒んでも、保護者が同意すれば入院させることができる。そのことで家族関係が悪化したり、保護者の負担感が高齢化につれて増すことがかねてから問題視されてきた。

改正案は、医療保護入院の保護者の同意要件を外す一方、3親等内のうちいずれか1人の同意で入院させることができるようになったことから、強制入院につながるのではないかという批判の声もあがっている。

入院当初から早期退院を目指した手続きの導入や権利擁護のために本人の気持ちを代弁する人を選べるようにするなどの対策も盛り込まれている。

精神科への強引な入院や安易な追い出しにつながらないように今後の動きに注目していきたいと思います。

記:五十嵐

江戸川病院デイケア勉強会

平成25年6月16日(土)にデイケアで「デイケアから次の一歩は？」をテーマに日中の過ごし方を中心に、地域の社会資源についてお話をさせて頂いてもらって行ってきました。

利用者13名、保護者1名、スタッフ2名の方々に聞いていただきました。地域の資源について名前を知っているが具体的な事が分からないという方が多く、沢山の質問が来ました。「見学に行ってみようと思う」「面談を予定していたので心の準備ができた」等様々な感想が聞かれました。自分にとっても改めて振り返る時間となったので今後もこのような機会を持っていききたいと思います。

(記：五十嵐)



趣味の部屋

前回の広報紙を見て、「趣味の部屋は好きなので終わらせないでください」と言って投稿して下さいました(涙)頑張ります。

私が今一番好きなDVDは「家族の庭」です。洋画で、奥さんがカウンセラーの中高年夫婦(名前がおもしろいんですよ♪トムとジェリー♪)結婚適齢期だけど彼女のいない息子との仲よし三人家族。物語は温かく静かに流れていきます。この家族の家には、いつも誰かが遊びに来ていて、それぞれの小さな傷を話すことや、ただ寄り添うとか、一緒にいることで癒されていく感じがしました。出演者たちが私や周りの人たちとかぶって...とても印象的でした。

私は家族ものや人とのつながりを大切にする映画が好きです。この様な内容がお好きな方には「少年と自転車」「キリマンジャロの雪」(両方とも洋画)などもお勧めです。

ただし、なんとなく映像で楽しみたい、頭を切り替えたいと思った時には別の映画がいいと思うのでまた紹介させて下さい。

匿名さん

(記：五十嵐)

【お問い合わせ先】

中核地域生活支援センターのだネット
担当：五十嵐
TEL04-7127-5366
FAX04-7127-5367

ひとりごはんが楽しくなる会

1人暮らし、又は1人暮らしをめざしている精神障がいの方を対象にした調理実習です。

2回目となる6月も2名の方が参加して下さいました。

メニューはビッグ餃子とあんかけ焼きそばです。ビッグ餃子はフライパンに餃子の皮を並べて餃子のタネを広げ、その上にまた餃子の皮を並べて焼くのですが、レシピ通りの分量なのに上手くいきませんか???原因はフライパンの大きさのようで火を通すのに苦労しました。見た目はともかく、おいしくは出来ました。あんかけ焼きそばは市販の固焼きやきそばの麺に中華丼のレトルトの具をかけるだけという簡単料理です。

7月は14日、8月は4日に開催します。参加ご希望の方は3日前までにのだネットへご連絡下さい。

記：五十嵐